

※本研修は令和7年1月に実施した管理職員向けの人権研修と同じ内容です。

R7年度は、一般職員の方も対象です！

令和7年度 人権感覚を 豊かにする ための研修 (職業倫理)

ーオンデマンド(動画配信)研修ー

【研修キーワード】

医療と福祉の融合、重症心身障害への良い実践、障がい児・者支援、地域福祉への貢献、国際交流の推進、医療的ケア児のインクルーシブ支援児童から高齢者までの総合福祉施設としての運営

本研修では、岡山県及び愛媛県において、それぞれの時代の要請にこたえて、子どもや障がい、高齢者や地域医療に至るまで、8つの分野(83施設、R5.7月現在)にて福祉事業を展開し、日本有数の総合医療福祉施設となった「社会福祉法人旭川荘」に長年貢献された末光氏を講師に迎え、ご講演いただきます。昭和31年6月の法人設立以来、長年にわたって大切にしてきた①「医療と福祉の融合」に込めた思いや基本理念である『人間尊重の精神』、②創設期から『医療福祉の経営』創造の時代までの変遷、③末光氏自身の福祉人として、継承したい思いやこれからの夢、そして、福祉経営者として利用者や子どもたちに関わり、施設としてどう人権問題と向き合っていくかについて考える機会とします。

昨年度から始まった自主企画による人権研修の第2弾です！

「医療福祉のパイオニア」と評された旭川荘初代理事長の川崎氏の思いを引き継ぎ、今なお、全国に向けて福祉の先進例を発信し続ける「旭川荘」の取り組みについて、ぜひ、ご聴講ください。

～旭川荘のあゆみから考える人権の視点とは～

『生命の輝きに寄り添って』

再配信
決定

講師 末光 茂 氏

社会福祉法人 旭川荘(岡山県) 元名誉理事長
川崎医療福祉大学 名誉教授



【講師プロフィール】

1942年松山市生まれ。67年に岡山大学医学部をご卒業され、旭川荘の旭川児童院に児童精神科医として勤務。88年旭川児童院の院長、91年川崎医療福祉大学教授、2007年から旭川荘理事長に就任。2023年から法人の名誉理事長に就任されている。また、中国・上海市では、第二社会福利院名誉院長なども務める。

2019年には法に先立ち、「医療的ケア児」を含む、障がい児のインクルーシブ保育にも挑戦されており、2023年12月5日、2024年8月6日には

福祉新聞「一草一味 明日の福祉」

に「医療的ケア児支援法から2年」、「日本の障害者福祉発信を」と題した

コラムを寄稿した。

配信
期間

9月 12日(金)11:00



10月 31日(金)16:00

開催
方法

動画配信型オンデマンド研修(約1時間40分)
(個人単位でお申し込みください)

対象

福祉施設(全分野)の職員の方

受講料

お1人につき 2,000円(税込)

申込
締切

令和7年8月6日(水)まで

申込締切後1週間以内に受講決定のご案内をいたします。

【お問い合わせ・お申込み】

(福)大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ

(長三・谷)

TEL:06-6762-9035

<http://www.osakafusyakyo.or.jp/kensyu-c/>

研修概要

(旭川荘HP)



◎受講が決定後、視聴期間1週間 前をめどに視聴用にかかるID・パスワード等をメールにてご連絡します。

◎インターネット等の通信料、受講にかかる費用は受講者の負担になります。

◎動画視聴にかかるID・パスワード、研修資料の複製や拡散等の二次使用、研修内容の録画・撮影は禁止しております。

◎本オンデマンド研修は、LMSの機能を有していないため、受講証明はできません。

申し込みはこちら

令和6年度「人権感覚を豊かにするための研修」として管理者向けに実施した本テーマを令和7年度はすべての福祉職員の方に対象を広げました。日本を代表する社会福祉法人のあゆみについて、ぜひ知ってください。

令和6年度受講者の実際の声(一部抜粋)

- ・末光先生の話し方がとても聞き取りやすく理解しやすかった。
- ・社会福祉の歴史をわかりやすい言葉でお話してくださり、重みも感じました。
- ・福祉施設としてなすべきことやこれまで取り組まれ、実践されてきた事柄、国を動かし、制度として確立していくことの大切さ、障害児(者)へのかかわり方などわすれてはならない視点やそのことを示唆する先人方の言葉などどれも重く受け止めました。辿ってきた歴史について深く知ることが出来た。
- ・興味深い内容、テーマであったので、真剣に聴く事が出来た。
- ・また、聴いていて時代背景からの現在の話に繋がっていたので、初期の始まりの想いや気持ちを持って聴くことが出来た。
- ・理念、取り組みに共感することが出来た
- ・講義を本当に理解できたかはわからないが、心構えや考え方を教えていただいたと思います。先達がかんな思いで取り組まれている姿にまた頑張らなければならないと思う。
- ・創始者の強い意思、受け継がれる理念に刺激をもらう事ができました。「現状維持は顕微鏡レベルでみると退歩の始まり」という言葉から常に変わり続けることの重要性を学びました。
- ・私はCSWとして活動していますが、講義の中の「地域社会の民度が高くなれば認識する問題が多くなる」という言葉がとても印象に残り、様々な現実を認知してもらうことが第一歩に繋がると改めて感じました。
- ・旭川荘に携わる方の利用者に対する熱意や思いが伝わり今後の職場にも広げていきたい。
- ・自分の仕事に対する姿勢を教えていただいたと思います。
- ・若い職員に先人たちの功績を説明するのにとても良い内容でした。
- ・若い世代に伝えることが重要と考えるので、いい機会になりました。
- ・「現状維持は退歩の始まり」というフレーズが印象に残りました

令和7年度の管理職員向けの人権研修(動画配信)第3弾も現在企画中です。

キーワードは、「ノーマリゼーションの理念、これからの日本の福祉を福祉先進国から学ぶ(仮)」

開催時期は1月～2月を予定しておりますので、ぜひ、お申し込みください！